

# 学校だよりん

清水小学校

## 「なかよし遠足」

清水小学校は全校児童105名の小規模校ではありますが、子どもたちは仲が良く笑顔の絶えない学校です。『今日は、本校の伝統の一つである「なかよしグループ」での一学期のメイン活動のなかよし遠足です。リーダーを中心に校区探訪です。それぞれグループごとに行き先を決め、おにぎり1個とお茶を持って縦割り集団で行動しました。目的地に行く途中リーダー



の指示に従い交通ルールを守ったり、校区の文化や伝統を説明してもらったりして自分たちの知らないことがわかりました。目的地に着いたら、みんな「ころがしドッジ」や「だるまさんがころんだ」を行いました。6年生の先輩が親切に教えてくれるので、とっても楽しかったです。その後、おにぎりをみんなで食べました。たった1個のおにぎりだったけどとってもおいしかったです。』

## 「学校安全サポーター」

学校の危機管理が叫ばれる中、本校では、子どもたちの登下校の安全を守るため「学校安全サポーター」7名の方がボランティアの一環として活動されています。毎朝、子どもたちの登校にあわせて、それぞれの地区から学校まで登校指導をしています。

### 下校時は、



学年にあわせて何回も巡回してもらえます。そのおかげで、子どもたちの安全と共に元気な声で「おはようございます」・「さようなら」と、挨拶も増えてきました。

### 学校安全サ



ポーターの方も、子どもたちの名前を覚えられ、「今日は、〇〇が休んでいる」と、全体や一人一人に気配りをされて安心ができます。また、学校の環境整備にも協力的で松の剪定までしていただきました。

## 中高一貫教育拡大推進委員会の報告について

去る8月4日(木)、揖斐高等学校において、「中高一貫教育の活動内容を確認し、今後の方向性を探る」というテーマのもと、中高一貫教育拡大推進委員会が開催されました。連携校(揖斐高等学校、揖斐川中学校、北和中学校)の全職員、揖斐郡内の中学校の校長・進路指導主事、教育委員会の78名が出席し討議が行われました。



まず、全体会では、連絡協議会会長の挨拶の後、活動報告がされました。その後、分科会に分かれ、分科会I(部会別分科会)では、「連携型中高一貫教育校のあるべき姿」、「中高一貫教育全般についての質疑応答」、「学力向上のために何ができるか」、「生徒会・部活動の交流について」、「体験学習の実施についての共通理解」、「生徒指導の共通理解」、「地域へのよりよい広報」とは」という議題で討議がされました。

分科会II(教科別分科会)では、国語、社会・歴史公民、数学、理科、英語、家庭、技術・商業、養護教育の8つに分かれた中高合同教科会が行われ、中高を見据えた授業展開の研究が行われました。

最後に、各担当者、記録者から分科会での討議内容の発表が行われました。

テーマに沿った討議内容が議論され、問題点や改善点などが話し合われ、問題点については今後の各推進委員会で再度協議・研究することになりました。

